

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	・物語文の教材に興味をもって向き合う児童が多く、大まかな内容を捉えることができる。 ・登場人物の心情を想像することはできるが、叙述を根拠に説明することに課題がある。	・登場人物の心情は、会話や動作などに表れることを全体で読み取りながら繰り返し指導する。 ・叙述から根拠を見出した児童を評価し、見出せなかった児童も本文に線を引かせるなど、友達の意見を聞いて自分の考えを深める手立てを講じていく。	
算数	・足し算や引き算の繰り上がりや繰り下がりのある筆算など、計算の仕方はよく理解している児童が多い。 ・身近なものの長さや水のかさなどの単位を適切に選択し測定するなど、量感が身に付いていない児童がいる。	・長さや水のかさの学習では、具体物や体を動かす作業的・体験的な学習の場を設定する。 ・実際に測定する際は、予想をさせる。予想と測定を繰り返すことで量感を身に付けられるようにする。	
生活	・ミニトマトを育てる活動を通して、興味をもって育てることができた。色や形、大きさなど、様々な視点での変化に気付くことができた。 ・学校探検や町探検の活動は意欲的に取り組むことができたが、振り返る場面では、「楽しい」だけで終わってしまう児童もいた。	・ミニトマトを実際に観察することで、興味・関心が高まっていた。実際に触れる、体験する活動を大切にしていける。 ・町探検では、保護者の方や地域の方に協力していただきながら、様々な人に支えられていることに気付くと共に、地域への愛着をもてるようにする。	
音楽	・拍に合わせてリズムを打ったり、まねっこやリレー遊びをしたりして楽しくリズム表現をすることができた。 ・鍵盤ハーモニカの演奏は、習熟に応じた支援を続ける必要がある。	・表現の工夫がしやすいように、声の出し方や奏法のポイントを明確にし、良いところを共有できるようにする。 ・階名唱や指番号を確認しながら、個別指導とグループ学習を適宜取り入れて行い、習熟を図っていく。	
図画工作	・発想が豊かになり、自分なりの表現を追究できる。 ・作品完成まで集中力の持続が難しい児童がいる。	・作品鑑賞等を通して表現の多様性に気付かせることで自分なりの表現に自信をもって取り組めるようにする。 ・短い題材を増やし、スモールステップで集中力を持続できるようにする。	

体育	・自分で動きや遊び方を工夫したり、友達と協力したりして運動することができる児童が多い。 ・体を支える力が弱かったり十分に自分の体を使いきれていなかったりする児童が多い。	・さらに色々な動きができるように多様な場を用意したり、考えたことを発表させたりして、運動への意欲が続くようにする。 ・鉄棒やマット運動などを通して、体を支える運動を取り入れ、体の使い方を具体的・視覚的に指導する。	
道徳	・登場人物の気持ちを考えることができるが、自分事として日常生活の場面と関連付けて振り返ることが困難な児童がいる。 ・友達の意見を受け入れたり、認めようとしたりする児童が多い。	・日常の生活場면을想起できるように導入や発問を工夫したり、自己の振り返りを伝え合う場を積極的に設けたりする。 ・ペアやグループでの意見交換の場を設け、様々な意見をたくさん聞けるようにする。	